

だ 議 会 よ り 会

発行/秩父別町議会
編集/町議会広報特別委員会
TEL/0164-33-2111
(議会事務局 内線25・26)



平成29年第2回定例会 6月9日

◆承認案件
専決処分された平成28年度一般会計補正予算を承認しました。

◆報告案件
平成28年度一般会計繰越明許費の繰越した経費の報告がありました。

◆補正予算
一般会計については、1508万円を追加し、総額32億196万円となりました。主な歳出については、診療所業務委託収益補償金902万円、ディスプレイセンター照明改

◆承認案件
専決処分された平成28年度一般会計補正予算を承認しました。

◆報告案件
平成28年度一般会計繰越明許費の繰越した経費の報告がありました。

◆工事請負契約の締結
屋外遊戯場建設工事の請負契約を議決しました。

◆人事案件
農業委員会委員に関する人事案件すべてについて同意しました。

◆農業委員会委員
片岡 洋一 氏 (再) 昭和38年11月1日生
中村 純一 氏 (新) 昭和40年4月12日生
高松 隆 氏 (再) 昭和40年8月13日生
多田 由紀博 氏 (新) 昭和34年9月27日生
梶澤 雄大 氏 (新) 昭和46年12月29日生
川上 徳嗣 氏 (再) 昭和45年5月6日生
植田 孝典 氏 (新) 昭和30年9月18日生

◆人事案件
農業委員会委員に関する人事案件すべてについて同意しました。

【農業委員会委員】

河瀬 晋 氏 (新) 昭和40年1月21日生
吉田 光博 氏 (再) 昭和32年5月25日生
高橋 裕治 氏 (新) 昭和42年6月20日生
佐崎 雅俊 氏 (新) 昭和39年8月29日生
塩谷 雅則 氏 (新) 昭和40年11月23日生

【人権擁護委員】 (中央西町内会)

榎本 信子 氏 (新) 昭和25年7月12日生



議会を

傍聴しませんか

第3回町議会定例会は、9月上旬に開催されます。お気軽にお越しください。

▼お問い合わせ

秩父別町議会事務局

☎ 33・2111

(質問と答弁の内容を要約してお知らせします)

一 般 質 問



【大野議員】

本町にとって、ふるさと納税は、安全安心で活気に満ちたまちづくりを推進するための貴重な財源であり、平成27年度、28年度と2年連続して1億円を超える寄付をいただいております。こうしたなか、国がふるさと納税返礼品の過度な競争に歯止めをかけるため、返礼品の調達額を寄付額の3割以内に抑えるよう各自治体に通知したとの報道がありました。本町の場合、多くても50〜55%の還元率で特産品を用意しているとのことであり、それほど過度の返礼品とは思いませんが、国の指導が3割以内としている以上、これまでの返礼品のポリシーームを減らすなどの対策が必要となり、寄付金の減少等が懸念されます。そこで、ふるさと納税による財源を確保するため、町として返礼品に

争に歯止めをかけるため、返礼品の調達額を寄付額の3割以内に抑えるよう各自治体に通知したとの報道がありました。本町の場合、多くても50〜55%の還元率で特産品を用意しているとのことであり、それほど過度の返礼品とは思いませんが、国の指導が3割以内としている以上、これまでの返礼品のポリシーームを減らすなどの対策が必要となり、寄付金の減少等が懸念されます。そこで、ふるさと納税による財源を確保するため、町として返礼品に

問

ふるさと納税の財源を確保するため、返礼品をどう考えているのか

答

寄付額が極力減少しないよう、他の自治体の動向を注視したい



ふるさと納税PRチラシ

ついていろいろと検討されていると思いますが、町長の考えをお伺いいたします。

【神薙町長】

ふるさと納税制度は、ふるさとや地方自治体のさまざまな取り組みを応援する仕組みとして、平成20年度の税制改正により創設されたところであり、本町においても、平成27年度に返礼品の大幅な見直しを行うとともに、クレジットカード決済を導入したことにより、初めて1億円の大台を突破し、平成28年度においても、返礼品の拡充やリピーター対策、各種広報媒体を活用しPRに努めた結果、2年続けて1億円を

突破したところであり、また、町では全国から寄せられました貴重な寄付金を寄付者の気持ちに込め、まちづくりに有効に活用するため、昨年6月にふるさと納税基金条例を設置し、平成28年度は4030万円を積み立てさせていただいたところであり、

こうしたなかで、本年4月1日付けで総務大臣から返礼品の送付が制度の趣旨に沿った責任と良識のある対応をとるよう通知があったところであり、通知の内容は、プリペイドカードや商品券などの金銭類似性の高いもの、貴金属、電子機器など資金性の高いもの、価格が高価なもの、寄付額に対する返礼品の調達額が3割を超えるものは見直しをするようにとのことであり、

本町の返礼品は9割以上がお米ですが、一部に商品券や高額な返礼品がありましたため、すでに見直しを行っております。ふるさと納税制度は自主財源の乏しい本町にとりましては貴重な財源であり、今後もふるさと納税の趣旨を尊重しつつ、寄付額が極力減少することのないよう、全国自治体の動向を注視しながら検討して参ります。

第1回臨時会

4月28日

◆議決事項

- ・秩父別町町税条例の一部改正
- ・秩父別町国民健康保険条例の一部改正
- ・業務委託及び工事請負契約の締結
- ・平成29年度一般会計補正予算

問

**電力自由化に伴う契約見直しで
経費節減を**

答

**電力の安定供給を第一に検討し
ていきたい**



【藤岡議員】

国が定める電力小売りの自由化によって、ここ数年事業者が急増して選択肢が広まっています。

報道等によりますと、電気料金は北電よりも数%から20%ほど安くなり、平均して10%節減されたという事例が紹介されています。

本町でも、ある程度の施設は、新電力に切り替え済みとのことですが、この際全ての公共施設において契

約を見直し、出来る限りの節減を図っていく必要があると思いますが、町長のお考えを伺います。

【神薙町長】

電力の小売り自由化は、平成7年に電気事業法が改正され、エネルギーに関する規制緩和が開始されました。その後、東日本大震災の影響により、エネルギー政策への関心が高まり、自由化の対象区分が徐々に拡大され、平成28年4月には全面自由化となったところ

です。新電力による経費節減効果は、一日の時間帯での使用量やピーク時の使用量にも大きく左右されるため、

施設ごとにどれだけメリットがあるのか試算したうえで導入を検討する必要があります。

町といたしましては、これらを踏まえ、平成27年11月に削減効果が大きいと見込まれる、役場庁舎、小中学校、スポーツセンター、生き生き館を新電力に切り替えております。

効果は、施設の規模により異なりますが、平成27年度と28年度の料金ベースでの比較では1.8%から18%程度削減されたところ

です。なお、ゆう&ゆの新電力導入につきましては、平成27年8月に全館の照明をLED化しており、このことで既に約5.8%電気料が削減されております。

また、常時大量の電気を消費する施設であるため、新電力事業者の参入が少なく、対応可能な事業者の確保が難しいなどの理由で、当面は既存の北海道電力による対応が適切であると考

えしております。本年4月にオープン致しました、「キッズスクエアちっくる」につきましても、建設当時に新電力導入について検討をしております。この施設の場合、割引率の大きい融雪電力を使用することが最大のメリットになることから、北海道電力と契約をしているところ

です。議員指摘の、全ての公共施設の新電力の導入については、施設により各々条件が異なりますし、何よりも公共施設は安定供給が第一であります。今後も、情報収集に努めながら、検討して参りたいと考えております。

**所管事務調査の
申し出**

議会閉会中の所管事務調査について、総務経済常任委員会及び議会運営委員会から、次のとおり申し出がありました。

- 総務経済常任委員会
・国民健康保険事業について
- ・農産物の生育状況について

○議会運営委員会
次期町議会（定例会までの臨時会を含む）の運営について

総務経済常任委員会

所管事務調査報告

本委員会は企画課所管事項について担当者の説明を受け、質疑応答により調査を実施した。

●「いなほ団地」について
平成23年度から造成した定住促進団地「いなほ団地」においては、昨年10月に全

道内政務調査

6月28日
～
6月29日

○障がい者支援施設を視察

旧ゲートボール場跡地に障がい者支援施設が建てられることから、札幌市内の就労継続支援B型事業所「鶴の郷」とグループホーム「桜のいえ」を視察しました。

両施設とも利用者はルールを守り、共同生活が可能で、現在状態が安定している方が対象となつています。「鶴の郷」では、主にパンの製造販売や老人ホーム、病院、小学校などの委託清掃を行っています。「桜のいえ」では、障がいの種類にとらわれず、共同生活



ができる方に住まいを提供し、自立を目指す方への生活を支援されています。

町内に同支援施設の建設を進めるNPO法人「みらいのそら」の矢野克己理事長も視察に同行し、「秩父別町での活動についても障がい者に対する正しい理解を深め、農業と福祉の連携なども模索していきたい」と話しました。

○喜茂別町における「地域おこし協力隊の取組み」

人口2199人、高齢化率39.9%、今年、開町101年を迎えた喜茂別町で「地域おこし協力隊」の取組みについて伺いました。

高齢化と人口減により、地域のお祭りや葬儀ができない、除雪が大変といった過疎地域特有の課題解決対策として全国に先駆け10名を募集したところ、85名の応募があり、平成22～23年の2年間で、集落支援、担い手育成、少子高齢化対策



に力を入れました。

具体的には、2名体制で地域に居住し顔を知つてもらい、地域のお祭り、生活支援、農作業、送迎、除雪お茶会、フィルム上映会等々の活動を続けながら個人目標である起業、就業に向けた取組みを実施。

1・2期生13名中8名が定住し、ラーメン店、整体師、議員、職員、店員など起業、就業され、地域活性化の大きな原動力となっております。

秩父別町では現在1名が就業、2名が隊員として精力的に活動しており今後期待するところでありです。

38区画を完売し、すべての家が建築される平成30年度中には30戸が居住する見込みであり、これまでの町の積極的な施策に敬意を表するものである。



●「キッズスクエアちっくる」について

4月にオープンした「キッズスクエアちっくる」においては、予想以上の来場者があり、喜ばしい限りである。29年度においては、30年7月オープン予定の屋外遊戯場の建設に着手するが、バルパークちっぷべつ

周辺の駐車場整備等、来場者が安心して利用できるような施設整備が必要と思われる。今後、交流人口の拡大による移住・定住の促進に向けた事業については、広くPRするとともに事業内容の検証などを行い、目的に沿った事業となるよう望むものである。

●地域おこし協力隊について

現在、協力隊員は2名となつているが、1名においては、地域の農産物をさまざまな角度から調査し加工研究を行つており、地場の農産物を有効利用した特産品が開発されるよう期待するところである。

もう1名においては、インバウンド観光を含む国際交流、コミュニティデザインなどの業務を担つており、交流人口の拡大と地域が活性化されるよう期待する。

また、町外に向けた情報発信・PR活動については、随時情報を更新するなど、本町の魅力を都市住民に発信し続けており、今後においても工夫を期待するものである。

全道町村議会議員研修会開催 7月4日

札幌コンベンションセンター

7月4日札幌市において全道町村議会議員による研修会が行われ、議長はじめ全議員が出席しました。



はじめに、慶応義塾大学経済学部教授の金子勝氏による「トランプ政権と日本経済―地域経済への影響は?」と題し、日本経済の現状について講演がありました。

○トランプ政権

トランプ政権は自国ファーストを掲げて、TPPを離脱。米国との間でTPPは発効されないが、合意された内容は国際公約となつている。TPPなどの貿易協定に

おいては譲歩の対価として、個別所得補償制度の充実が必要であり、次期の貿易交渉はTPPの合意からスタートとなり、さらなる市場開放を求められる。

○金融政策

日本銀行の異次元の金融緩和という超低金利政策のもと、国は国債を発行し続け、その残高は約1000兆円、そのうち日銀は420兆円保有している。このことにより日銀は

金利を上げることができない。金利を上げれば、その利払いで国の財政が立ち行かなくなる。日銀による政策がなくなりつつある。

国の借金をどのようにして返していくか、返済できないのではないのか。

○景気動向

有効求人倍率がバブル期

並みになってはいるが、景気が良くなった実感が伴わない。その理由は求人者数が増えたわけではなく、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）が減り続けているためである。

生産年齢人口の減少は、消費の減退につながり、景気が上昇しにくい状況になっており、日本経済にはこれらの不安定な要素があり、さらに厳しい状況が続くなどと講演されました。

後半は、日本放送協会解説副委員長の島田敏男氏の「日本政治の昨日・今日・明日」と題した講演でした。



安倍政権は衆参の国政選挙で、4連勝し2016年ついに27年ぶりの自民党単独過半数を得ました。これにより安倍首相の一強体制が確立し、力を得た政権は安保関連法、共謀罪、加計問題など十分な説明がないまま、数の力で政権運営を行つていきます。

そのため7月2日に行われた東京都議会議員選挙において、自民党は惨敗しました。安倍長期政権に対する疑問や飽きが一気に噴出したのではないかと指摘しました。

今後安倍政権は、総仕上げとして憲法改正を目指すと思われるが、今日の選挙は無党派層の支持を得なければならぬ、そのため安倍総理には血の出るような質問、批判を受け止め、自らを修正していかなければならないと力説しました。

北空知議会議長連絡協議会議員研修会開催される

7月20日、北空知議会議員研修会が妹背牛町民会館で開催され、北海道町村議会事務局長の村川寛海氏が「求められる議会・議員活動」と題して講演されました。

村川氏は講演の中で全国的にも問題になっている「議員のなり手がいない」ことについては報酬額が低いためであり、高知県大川村の「村総会」についても語りました。

空知町村議会議長会議員研修会開催される

7月25日、沼田町まちなかほっとタウンにおいて空知町村議会議長会主催の議員研修が開催されました。研修では、札幌大学教授の浅野一弘氏の講演が行われました。

みんなの声

中央西町内会
其田もも子さん



秩父別町へやってきて、気づけばアツという間に1年が経過してしまいました。

私は去年の春に転職してこの町にやってきたのですが、町の人には口をそろえて「こんな何もないところによく来たねえ。」とおっしゃいます。

確かに、秩父別には大きなショッピングセンターや、いつでも遊べるゲームセンターのような施設はないかもしれませんが、しかし私にとっては、新しい体験や発見をたくさんすることができる町でした。

ここに来るまでは、採れたてのトマトやブロッコリーがあんなに美味しいなんて知りませんでしたし、季節ごとの田んぼや畑の色の移り変わりに目を奪われることもありませんでした。

晴れた日に、車の窓を全開にして畑の横の道を走り抜けるのは最高に気持ちが良いですし、夏に家の窓を開けると、本物のカエルの合唱を聞くことができます。

何気ないことばかりですが、大きな町ではもちろん、同じ田舎でも秩父別のように人と自然の距離がとて近しい町でなければ決して経験することはできなかったと思います。

また、ここに来る以前は、仕事以外で新しい知り合いができることなんてありませんでした。しかし秩父別には、面白いことや楽しそうなことがあると新参者の私にも声をかけてくれる、そんな温かい人が多いように感じます。おかげで、退屈することなく毎日を過ごしています。

まだまだ秩父別町民2年生ですが、もっと秩父別の素敵などところを探していきたいなと思います。

議会の主な動き

2725 日日	2019 日日	1412 日日	106 日	44 日	〔7月〕	2813 日日	129 日	22 日	〔6月〕	31 日	3021 日日	157 日	127 日	11 日	〔5月〕	28 日	〔4月〕														
広報特別委員会	空知町村議会議員研修会	北空知議会議員連絡協議会	拓魂祭	まち・ひと・しごと創生会議	広報特別委員会	秩父別消防演習	北空知議会議員連絡協議会	北空知議会議員連絡協議会	要望実行運動打合せ会議	北空知議会議員連絡協議会中央	員研修会	全員協議会・北海道町村議会議員研修会	道内政務調査（29日・喜茂別方面）	北海道町村議会議長会定期総会	第2回町議会定例会	全員協議会	議会運営委員会	全員協議会・町政討論会	全国議長副議長研修会	議	北空知JR留萌本線問題検討会	秩父別振興公社定時株主総会	東京秩父別会総会	敬老祭・開町記念式	総会	北空知議会議員連絡協議会定期	札幌秩父別会総会	通水式	札幌秩父別会総会	総務経済常任委員会	第1回臨時議会

● やっと夏らしくなってきた。長期予報では好天の兆しが。7年連続の豊稔の秋に期待が高まる。

● 九州では50年に一度の記録的な豪雨となった。亡くなった方、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。近年、全国各地においては大きな自然災害が頻発しているが、秩父別は、本当に住みやすいところである。

● 秩父別温泉の源泉井戸ボーリングが始まった。開設以来28年が経過、万が一の枯渇対策でもある。場所は、ふれあいプラザ南東角で掘削深は1500m、今秋には終了し各種手続きの後、来年度から使用開始の予定。現行より200m更に深く掘る事で豊富な湯量と泉質が期待されている。工事の安全を祈りつつちっく効果と相まって大勢の入込と人口増につながることを期待したい。

（藤岡）

編集後記